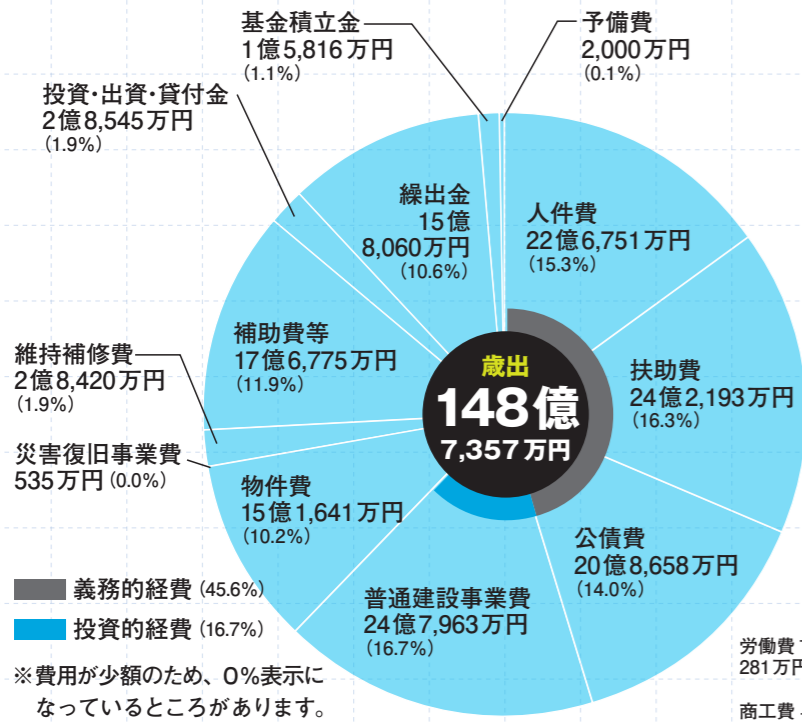




当初 予算 編成

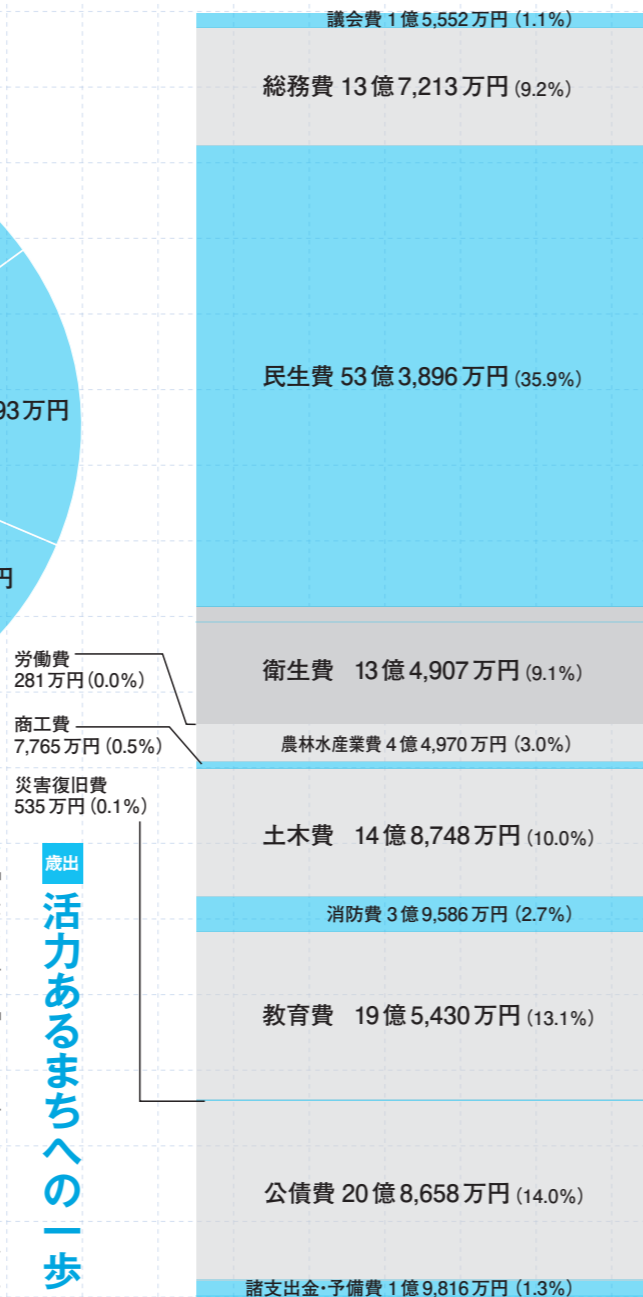
3月定例会で可決
財政健全化を目指す

歳出 性質別グラフ



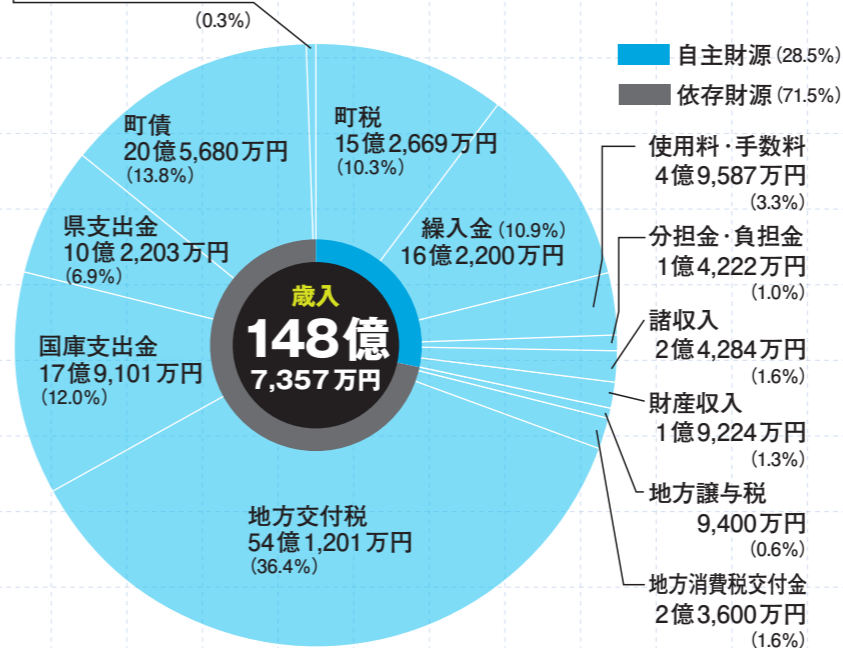
▼「性質別」と「目的別」のグラフは、共に一般会計の歳出を表したグラフです。目的別歳出では、行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることができます。性質別歳出には、支出が義務づけられている人件費や扶助費、公債費の「義務的経費」と公共施設の建設など、行政水準の向上にかかる普通建設事業費の「投資的経費」に分けることができます。この歳出を前年度の当初予算と比較した場合、人件費が5千642万円の増額、扶助費が1億949万円の増額、公債費が1千919万円の増額、普通建設事業費が7億1千918万円の増額となっています。より効率的で効果的な行政運営を着実に進め、活力のあるまちへと福智町が成長できるよう、貴重な財源を計画的に運用していきます。

歳出 目的別グラフ



歳出 活力あるまちへの一歩

利子割交付金…300万円 配当割交付金…500万円
自動車取得税交付金…1,500万円 地方特例交付金…210万円
交通安全対策特別交付金…320万円 寄付金…1,100万円
株式等譲渡所得割交付金ほか 56万円



歳入 町の自主財源は約2割

▶一般会計の歳入は、前年度と比較して約20億6百万円増加し、148億7千357万円となっています。予算規模は拡大し、繰入金（基金取り崩し）で不足分を補う予算編成は依然として変わらず、厳しい財政状況を表しています。また、歳入は税金などの「自主財源」と国や県などに頼った「依存財源」の2つに大きく分けられますが、この自主財源が多いほど、町独自のサービスを行ったり、将来に向けての積み立てを行うなどの行政活動の自立性と安定性が確保されます。グラフが示すとおり、町の自主財源は全体の約28%にとどまり、この数字が財政基盤の弱さを表すかたちとなっています。さらに、自主財源の中の繰入金は基金を取り崩した金額なので、その分を除いた自主財源は、全体の17.6%しかありません。

特別会計	予算等金額
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	7,895万円
国民健康保険事業特別会計	50億6,982万円
後期高齢者医療特別会計	2億9,309万円
国民健康保険福智町立診療所事業特別会計	10億2,884万円
田川郡町村公平委員会特別会計	181万円
水道事業会計	
収益的収入	6億2,649万円
収益的支出	6億1,745万円
資本的収入	1億6,430万円
資本的支出	3億3,577万円

診療所と国保会計ピンチ

▶特別会計は、一般の歳入歳出予算と区分して整理する必要がある場合や特定の事業を行う場合に設置するもので、福智町には5つの特別会計と水道の企業会計があります。本年度予算で見ると、特に厳しい運営を迫られているのが、診療所事業特別会計で5億4千193万円の歳入不足、国民健康保険事業特別会計が一般会計からの超過費用繰入金7億円を除いた11億7千754万円の歳入不足がそれぞれ見込まれます。

用語説明

- ▼(歳入) 町税：皆さんに納めていただく税金。地方交付税：財政力に応じて国から交付されるお金。町債：町の借入金(借金)で償還が2年以上に渡るもの。国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金。県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金。繰入金：積立金(基金)の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金。
- ▼(歳出) 人件費：報酬や給与など。物件費：賃金や旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費。維持補修費：道路や公共施設などを管理するために必要な経費。扶助費：高齢者、児童、心身障害者などを行う支援のための経費。補助費等：町から他の団体などに対して行政上の目的で支払う経費。普通建設事業費：道路や公共施設の新増設に必要な経費。公債費：町の借金などを償還する経費。積立金：将来に備えて積立てる経費。繰入金：一般会計、特別会計、基金との間で相互に資金運用をするための経費。議会費：議会運営の経費です。総務費：行政の事務などに関する経費。民生費：障害者、高齢者に対する福祉や子育て支援などの経費。衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費。農林水産業費：農林業振興のための支援や生産基盤整備等の経費。土木費：道路や河川、施設建設など社会資本整備のための経費。教育費：教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費。公債費：事業を行うために借りたお金の元金・利子などを支払う経費。諸支出金：他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目。予備費：予算編成で予期しなかった支出に対応するための科目。